



図 16.19 刺青 (tattoo)
いわゆる“入墨”。さまざまな色調が混在している。

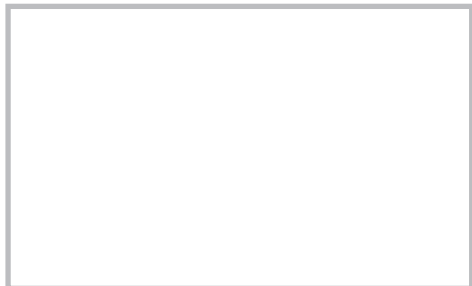


図 16.20 外傷性刺青 (traumatic tattoo)

診断・治療

黄疸との鑑別を要する。黄疸では強膜の黄染化，瘙痒，肝機能異常がみられるため容易に鑑別できる。原因食物の摂取を制限すれば2～3か月で自然治癒する。

2. 銀皮症 argyria

定義・病因・症状

銀製医療器具（銀針，縫合糸，歯科充填材）の使用や銀含有食品の長期摂取により生じた限局性および全身性の銀沈着症である。日本では仁丹[®]，欧米では銀含有の薬剤により発症した報告が多い。汗腺や弾性線維などに銀化合物が沈着し青灰色を呈する。全身性では日光露光部である顔面や頸部，前腕部で生じやすい。

診断・治療・予後

皮膚生検で茶褐色の微細な顆粒塊を認め，顆粒成分の微小部蛍光X線分析で銀にピークをみることで診断する。有効な治療法はなく，さらなる銀の摂取を控える。本症と発癌などの疾患とのかかわりはない。

3. 刺青 ^{しせい}tattoo

いわゆる“入墨”。人為的に色素や墨を皮膚に刺入し，絵や字を描き出したものである（図 16.19）。文身ともいう。転倒などで偶発的に異物が真皮などに入った場合は外傷性刺青 (traumatic tattoo) という（図 16.20）。色素は主に真皮上層に存在するが，一部はマクロファージに貪食され，リンパ流を経てリンパ節に沈着する。刺青の合併症として，色素によるアレルギー反応や，光線過敏症を起こす場合がある。色調によりレーザー療法が有効なことがある。